

株式会社 アイティエス

小粋な会社 うぶすな紙



うぶすな紙を開発した石渡さん

三島市梅名に本社を構える株式会社アイティエスは、主に工場・オフィス・土木現場などで業務の効率化を図る、ICT技術によるサポートをしている。

ICTで効率化

三島市で情報サービス業を行う株式会社アイティエスの常務取締役石渡陽次さんに、会社の概要や、地域貢献のために取り組む名刺づくりについて話を聞いた。

創業の理念は「地元生まれが地元で安心して働ける企業づくり」だ。この理念は、創業者の「転勤せず、地元ですっとやりたい仕事で働けるように」という思いが込められており、積極的に人事採用にも繋がっている。

石渡さんは「我が社は、裏で支える仕事だが、日々誇りを携って働いている」と語る。三島に本社を置き、さつに札幌・東京・名古屋・草津の営業所を持つ三島市梅名の三島アイティエス。島田諸のツルを原料として使っているため普通の紙と違い繊維がもたらす、高級感や紙表面のなめらかな手触りを実現した。さらにもう一歩進んだビジネス

「三島市で情報サービス業を行う株式会社アイティエスの常務取締役石渡陽次さんに、会社の概要や、地域貢献のために取り組む名刺づくりについて話を聞いた。」

「三島市で情報サービス業を行う株式会社アイティエスの常務取締役石渡陽次さんに、会社の概要や、地域貢献のために取り組む名刺づくりについて話を聞いた。」

「三島市で情報サービス業を行う株式会社アイティエスの常務取締役石渡陽次さんに、会社の概要や、地域貢献のために取り組む名刺づくりについて話を聞いた。」



「うぶすな紙」を使った製品



戸田の魅力について語る山田さん

郷土愛溢れる戸田のまち。努力を惜しまないまちの人々が高足ガニ、戸田の魅力を伝え続けている。

株式会社光徳の代表取締役山田隆継さんに取組みについて話を聞いた。

また、沼津市商工会の戸田での活動も追った。



▲高足ガニ料理



▲迫力ある高足ガニ

「高足ガニ」という思いから立ち上り、戸田を愛する「高足ガニ」は七年の月日をかけて、冷凍しても美味しく食べられるように研究を重ねて生み出した。

この「高足ガニ」は三島信用金庫が主催する夢企業大賞で特別賞を受賞し、注目を集めている。

また、大人気の冷凍商品「高足ガニ」は七年の月日をかけて、冷凍しても美味しく食べられるように研究を重ねて生み出した。

この「高足ガニ」は三島信用金庫が主催する夢企業大賞で特別賞を受賞し、注目を集めている。

現在、戸田では観光客を呼ぶ多くの工夫をされている。その一つに漁船からカモノに餌をやる体験があり、観光客の楽しみの一つになっ

「高足ガニは深海の珍しいカニであり、大きくて食べごたえがある。かつては、衰退の途を辿っていた戸田。この状況に対して光徳の代表取締役の山田さんは「このままだといけない、戸田を変える」という思いから立ち上

「高足ガニは深海の珍しいカニであり、大きくて食べごたえがある。かつては、衰退の途を辿っていた戸田。この状況に対して光徳の代表取締役の山田さんは「このままだといけない、戸田を変える」という思いから立ち上

「高足ガニは深海の珍しいカニであり、大きくて食べごたえがある。かつては、衰退の途を辿っていた戸田。この状況に対して光徳の代表取締役の山田さんは「このままだといけない、戸田を変える」という思いから立ち上

「高足ガニは深海の珍しいカニであり、大きくて食べごたえがある。かつては、衰退の途を辿っていた戸田。この状況に対して光徳の代表取締役の山田さんは「このままだといけない、戸田を変える」という思いから立ち上

株式会社 光徳

故郷の味 足の長い救世主

戸田の魅力発信
美味しさへの努力

沼津市戸田にある株式会社光徳は、戸田の発展と共に歩み、高足ガニの美味しさをたくさんの人々に届けている。

高足ガニは深海の珍しいカニであり、大きくて食べごたえがある。かつては、衰退の途を辿っていた戸田。この状況に対して光徳の代表取締役の山田さんは「このままだといけない、戸田を変える」という思いから立ち上



▲光徳 かにや外観

沼津市商工会 おもてなし

沼津市商工会では企業と連携して高足ガニの放流を観光客と行うイベントを開催している。放流された高足ガニは捕獲量減少を防いでいる。また、田独自で制作し、言葉の壁を越えて、積極的にコミュニケーションを取る努力を地域全体で行っている。

近年増加している中国人観光客のために、イラストがまじった中国語と日本語のおもてなしカードを戸田独自で制作し、言葉の壁を越えて、積極的にコミュニケーションを取る努力を地域全体で行っている。

郷土愛を育む

山田さんは「戸田で生まれ育った若者たちが都市部に進学、就職したとき戸田に生まれ育って良かった、戸田が好きだ」と話してくれたら嬉しい」と話した。そのために戸田の子どもたちが中学校を卒業する時には沼津法人会戸田支部と企業が協力し、高足ガニ料理を振る舞っている。故郷の味を改めて戸田の子どもたちに伝え、郷土愛を育もうという試みだ。山田さんは「広い視野の中で学んだことを、戸田に戻ってきたときに活かし、若者の力で戸田を引っ張ってほしい」と話した。

郷土愛を育もうという試みだ。山田さんは「広い視野の中で学んだことを、戸田に戻ってきたときに活かし、若者の力で戸田を引っ張ってほしい」と話した。